

や・ま・ぐ・に

夏まつり2025のーコマ



8月22日（金）に郷夏祭りを開催しました。ボウリング、輪投げ等をしたり、チケット制でフランクフルトやお菓子を美味しく食べました。5年ぶりに山国音頭保存会の皆様にお越し頂き、山国音頭や丹波音頭と一緒に輪になって踊って下さいました。再開を喜ぶ利用者さんの様子をあちらこちらで見かけることができ嬉しそうに保存会の方々と交流する姿は、地域に暮らしている一員なのだ改めて感じる事ができた一日でした。

『自閉スペクトラム症って？？？（第6回）』

今回は自閉スペクトラム症を含む『発達障がい』について触れたいと思います。発達障害者は、脳の働き方の違いにより、物事の捉え方や行動のパターンに違いがあり、そのために日常生活に支障をきたす状態を言います。

《発達障がいの種類》

- 知的能力障害：知的レベルが低位で日常生活への理解・適応が困難
- 自閉スペクトラム症：こだわりが強く、臨機応変で適当な対人関係が苦手
- 注意欠如・多動症：不注意・多動性・衝動性があり、集中したり整理が困難（ADHD）
- 限局性学習症（LD）：知的発達には問題無いが、特定の学習のみが困難で低位
- 協調性運動症：協調運動が困難で、日常生活に支障をきたしている状態
- チック症：思わず起こってしまう素早い身体の動きや発声（※1年以上持続し、日常生活に支障をきたす場合、トゥレット症）
- 吃音（きつおん）：滑らかに話すことができないという状態

聞いたことのない障がいがある中で、えっ（@__@；）これも発達障がいなのぉー？？とを感じる現象があることに気が付かれた方もいらっしゃると思います。

其々の症状（障がい）を正確に理解し、適切な対応を行うことで症状を和らげ重度化を防いだり、合併症を予防することに繋がります。

前号でもお伝えしましたが、障がい者自身での対処だけでなく互いの関わり方に意識を向けて過ごすことが、円滑な関係性が保たれる第一歩だと・・・それにはやっぱり、『共感・共汗・共歓』で共生ですね。♡(●>U<●)♡

編集後記

支援課長（K.T）

今の日本、令和のコメ不足、労働人口不足に福祉人材不足・・・いろんな不足が流行っています（笑泣）本当に大事にしなければならないもの、しっかり考えなくてはいけないことは何なのか、改めて問われているように思います。皆さんはしっかりと考えて生きていますか。（Kohei）

2025 スローガン

「みんなで わくわく♪」

活動担当、グループ担当、フリー職員など垣根を越えて協力し合い、「みんなでワクワク」できる京北やまぐにの郷を目指しましょう！！！！

発行 社会福祉法人 京都杉の木会 京北やまぐにの郷
〒601-0314

京都市右京区京北大野町菰蒲ヶ回互10-2

TEL：075-853-0571 FAX：075-853-0372

URL：https://yamaguni.jp

✉：keihoku802310@yacht.ocn.ne.jp

▶ 京北〜〜未来の福祉に向かって〜〜

周山町宮坂町民集会所にて新規事業住民説明会を開催しました

7月26日（土）暑い夏の夕暮れ、宮坂町民集会所にて宮坂地域の皆様にお集まりいただき、～地域での共生を目指して～と銘打って新規事業の説明会を開催しました。暑い中お集まりくださった住民の皆様には感謝しかありません。

まず現在の法人施設『京北やまぐにの郷』について説明をした後、新たな事業の計画についてお話しさせて戴きました。具体的には・・・

- 障がい者のグループホーム：1棟（6名定員）
- 障がい者の日中活動施設：1棟（20名定員）
- 地域の方も利用できる交流場所：（内容検討中）



の開設に向けて進めていく予定です

質疑応答では・・・

- ◇立地と安全対策に関する懸念
- ◇騒音やトラブルへの懸念と対応
- ◇利用者の対象と受入れ基準について
- ◇苦情受付体制の整備

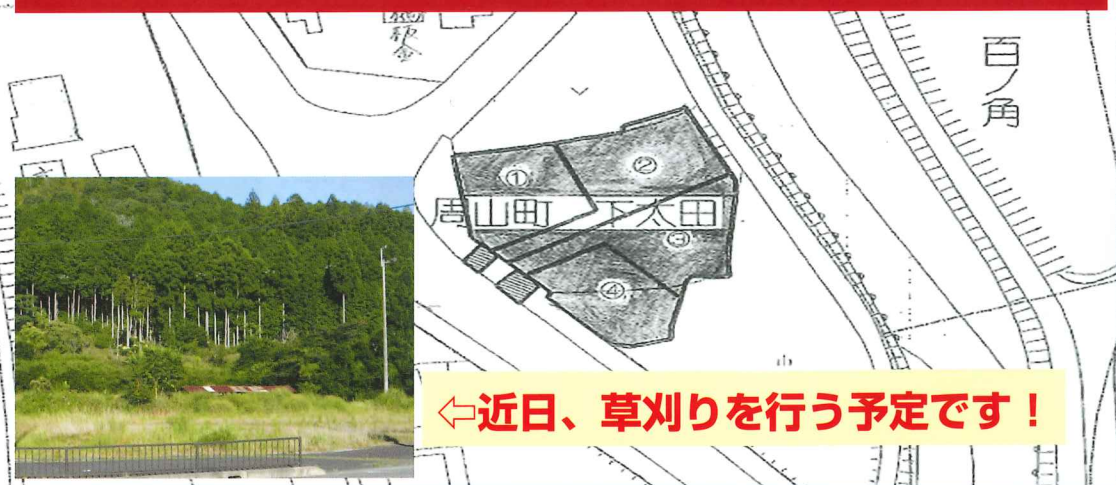


等々、多岐に渡っての問答が繰り広げられました。

様々なご心配事について、真摯にお答えし、不安を払拭できるよう設計段階から運営に至るまで工夫し、努めていく旨お伝えしました。「絶対に…」というフレーズでのお答えが出来ずに心苦しい限りではありましたが、見守っていただきたく祈念申し上げ、閉会しました。

終了後、参加下さった方から「ごくろうさま～」とのエールも送っていただき、京北の福祉向上の一翼を担うべく邁進していこうと心して帰郷しました。（t e r a）

新規事業開設予定地 地図（下太田地区）



←近日、草刈りを行う予定です！

説明会では、最速で2027（令和9）年とお話ししておりましたが、最速で2028（令和10）年となります。訂正してお詫び申し上げます。

▶ 《あっとアート》ステキな世界観を紹介します



日中活動の一環として「日常生活にメリ・ハリを！」と始めました。利用者さんの個性を活かす、特技や趣味の延長線上にあって、思いのままに自分の世界観を表現できるような画材等を提供しています。

自然豊かな山里の移ろぎを感じながら切り紙を使って貼り合わせて切り絵を数人の手で色彩豊かに仕上げていきます。月に3～4回程度ではありますが、集中力を発揮する姿を皆さんにもお届けしていこうと思います。

スゴイ画伯もおられますよ。是非、ご覧あれ!! (by miyo)



▶ 各種委員会の紹介（感染対策委員会の活動から）



感染対策委員会の活動を紹介します

感染対策委員会では、感染症研修や訓練の計画・実施、マニュアルの見直しなど、5名のメンバーで活動しています。7月の訓練では、3日間かけて全職員が防護服の着脱や嘔吐物の処理手順を確認しました。1mの高さから嘔吐した場合、嘔吐物を中心に半径2m、高さ1.6mの範囲を消毒する必要がありますが、実際に紐で円周12.5mを作り、その大きさを確認しました。（想像以上の広さ！）

安心できる施設を目指して、病原体を「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」を柱に取り組んでいきます。（正田）